水道だより

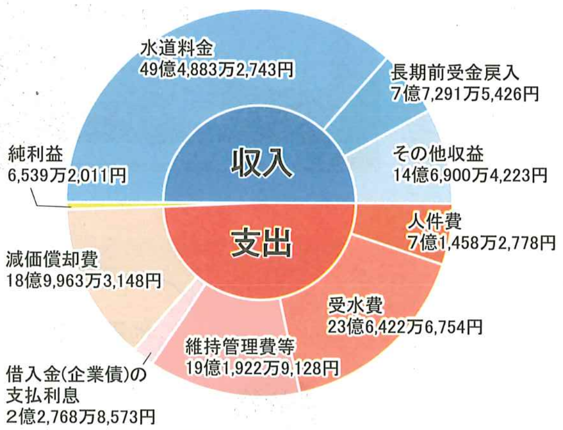
私たちの暮らしの中の水道 vol.18

令和４年12月１日発行
上下水道管理課
☎237-5811 FAX237-5819

身近にある水道について知っていただくために、水道事業の現状・課題・経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は水道事業会計の令和３年度の決算状況を見ていきます。

令和３年度決算を見てみよう！

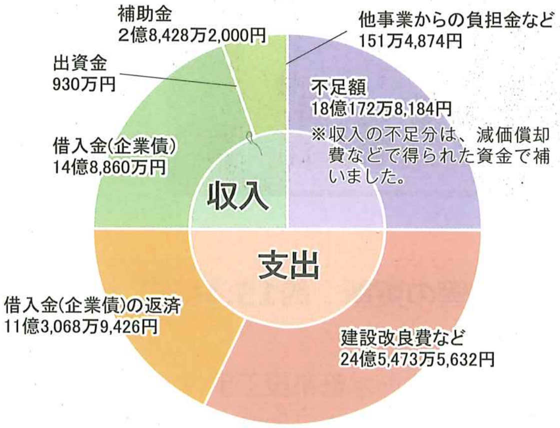
収益的収支



収益的収入	71億9,075万2,392円
収益的支出	71億2,536万　381円
純利益	6,539万2,011円

※税抜き

資本的収支



資本的収入	17億8,369万6,874円
資本的支出	35億8,542万5,058円
収支差引	△18億　172万8,184円

※税抜き、△はマイナスを表す

業務量の概要（令和４年３月31日時点）

給水人口	27万1,182人
給水戸数	13万6,480戸
年間総配水量	3,985万5,089㎥
1日平均配水量	10万9,192㎥
1日最大配水量	11万7,155㎥

- 収益的収支(グラフ左)
  その年度の水道水の供給に必要な費用と収益(主に水道料金)
- 資本的収支(グラフ右)
  水道を将来にわたって継続するために必要な施設の整備や拡充などに係る支出と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)

令和３年度決算が出たんだね。以前から経営が厳しいと聞いているけど、今回はどうだったの？

資本的収支の不足額が約18億円で、厳しい経営が続いているよ。この不足額は資金収支を伴わない補塡(ほてん)額(減価償却費と長期前受金戻入の差額など)や純利益などを積み立てた貯金を取り崩して支払ったんだ。

貯金は減ったけど、まだ37.9億円もあるんだね。

この貯金は大規模災害等が発生した場合であってもライフラインである水道事業を継続していくために必要なお金なんだ。津市では50億円は必要だと考えているから、今の状況では安心できないんだ。

いざというときに必要になる大切な貯金なんだね。ところで、令和３年度ではどんな事業が進められたの？

主な事業の実績を次のページで解説するね。

貯金の動き

これまでの貯金(損益勘定留保資金)		令和３年度の不足額		令和３年度の貯金		貯金残高	令和３年度に減った貯金
44.2億円	−	18億円	＋	11.7億円	＝	37.9億円	6.3億円

水道事業の運営費用は、皆さんからの水道料金で賄っています！

令和３年度の主な事業実績(水道事業会計)

水道施設の更新・耐震化　約8.9億円

主な工事

- 片田浄水場電気計装設備等の更新工事(令和２～４年度継続工事)
- 久居別所浄水場２号緩速ろ過池の耐震補強工事
- 美杉小西浄水場の非常用発電設備設置工事

片田浄水場受変電設備

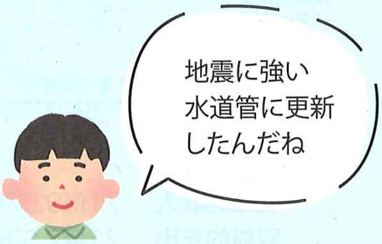
片田浄水場中央監視装置

美杉小西浄水場の非常用発電機

古い水道管の更新　約15.4億円

主な工事

- 戸木町地内の配水管布設工事(令和３～５年度継続工事)
- 産品および片田志袋町地内の配水管布設工事(令和３・４年度継続工事)
- 道路整備事業(香良洲架橋替)に伴う香良洲町および雲出伊倉津町地内の配水管布設工事



管の布設工事で使用する掘進機

工事前の香良洲橋(平成26年当時)

工事後の香良洲橋(令和4年)

古くなった施設の更新や耐震化に投資を加速！！

水道管の多くはとても古くなってきているんだ。水道管が古くなると漏水の発生が増えるだけでなく、古くなった水道管が破損して大規模な断水が発生してしまう恐れもあるんだ。

津市の水道管はそんなに古くなっているんだね。更新などの事業は着実に進んでいるのかな。

将来にわたって水の供給を維持していくために、第１次計画(H20～29年度)では118億円だった投資額を第２次計画(H30～R９年度)では約２倍の216億円に増やしたんだ。

たくさんの事業を進めていく予定なんだね。

第２次計画に位置付けた料金改定にご協力いただいたから、計画通りに施設の更新や耐震化などの事業が進められるよ。

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届けられるよう事業を進めます。